

総務広報委員会

委員長	星原英樹	・	鍛治孝平	・	川田匠
副委員長	神脇清太	・	徳丸寛史	・	外村純一
委員	牛谷祐介	・	中村信一	・	野口俊和
	小牧俊彦	・	藤岡将弘		
	中丸文雄				
	久黒亮介				

【事業報告】

本年度総務広報委員会では、1月・7月・12月での総会の実施、11月第1例会である事業検証会、ホームページ等による広報活動を行ってきました。

総会については、年3回に渡り、組織の最高議決機関に相応しい厳粛さを保ちながら、メンバーの意思を集約することにより、都城青年会議所としての方向性を厳正に決定し、組織内における運営強化に寄与することができたと考えています。

事業検証会については、10月までに行った例会や事業の総括として実施しました。昨年と同様、予め、外部評価員を選定することにより、可能な限り事業にご参加いただき、また、これまでメンバーの目に触れる機会がなかった外部評価員を事業検証会に組み込むことで、外部評価員の生の声に、メンバーの皆様が直接触れられる機会としました。さらに昨年度の反省点であるタイムスケジュールに関する問題点も、同日に開催した出向者報告会に外部評価員をお招きすることにより、当青年会議所メンバーの都城以外での活動内容を外部の方へ知っていただく機会となり、また事業検証会で時間の都合等により伝えることのできなかった意見や質問を交わせる交流の場となったのではないのでしょうか。

ホームページについては、予定者段階において、前年度担当委員会より引き継ぎを行い、1月1日より2016年度新たなページとして公開いたしました。課題としては、委員長としての目標でもあった、委員会メンバー全員がホームページの更新操作や設定などを行えるよう各自のスキルを上げていくことができなかったことです。次年度の担当委員会には、しっかりと引き継ぎをさせていただきながら、将来に渡って、広報活動のベースとなるホームページ構築、そしてメンバー一人ひとりの成長に努めたいと考えております。

また、本年はホームページやフェイスブックの運用以外に、メディアを活用した青年会議所の広報活動ということでフリーペーパーを活用し、半年間当青年会議所の広報と直近の公益事業を広報してまいりました。少しでも青年会議所活動に興味関心を持っていただき、事業の広報のみならず仲間を増やす為に多くの方の目に触れる広報誌を選定したことで、会員拡大の足掛かりになったのではないかと考えます。

最後に、総会において様々なお助言をいただきました東シニア会長をはじめとしますシニア会の皆様に対し心より感謝申し上げます。また、1年間楽しく？委員会運営をしていただいた神脇副委員長をはじめとします総務広報委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。



LOM創造拡大委員会

委員長	橋口康範					
副委員長	上村一					
委員	黒木清隆	・ 杉田	司	・ 田之上	尚 満	
	西川彰	・ 東迫	紀 憲	・ 日高	直 樹	
	丸山亮馬	・ 森	春 允	・ 山本	勇 介	
	油井治晃	・ 脇元	亮			

【事業報告】

LOM創造拡大委員会では、2月に宮崎ブロック会長公式訪問例会、会員拡大、北蔚山青年会議所との交流事業を行いました。

宮崎ブロック会長公式訪問例会は、牟田ブロック会長、そして役員の方々を花によります華やかな演出でお迎えしまして、合同理事懇談会では、当LOM委員長とブロック委員長との意見交換を行うことでお互いの運動の方向性を共有できたと思います。また、ブロックアワーにおきましては、牟田ブロック会長に日本青年会議所の方向性を発信していただき、各ブロック委員長の方々からは今後の宮崎ブロック協議会の運動や方向性を発信していただきました。

会員拡大では、一年を通して45名の拡大を宣言いたしましたが、27名の拡大となりました。メンバー拡大は、LOMメンバーが一丸となって取り組まないと達成は出来ません。メンバー一人ひとりが一致団結すれば必ず拡大はできると確信しております。

北蔚山青年会議所との交流事業では、北蔚山青年会議所の皆様を迎えての合同理事懇談会から始まり、今回、新たな手法で交通面や事業の交流に対して話し合いました。各理事に対して姉妹JCとしてのあり方や今後の事業への方向性が伝わったと思います。12月の北蔚山青年会議所創立記念にて、今後の話し合いを行い、誓約書にサインをいただきました。我々、都城青年会議所は、今後、北蔚山青年会議所と姉妹JCとして益々活動していき、世界の輪を広げて今後の交流に繋げていきたいと思っております。

最後に、一年間通してご指導していただきました真方理事長、入木田室長、スタッフ、理事の皆様、協力していただきました各委員会の皆様、本当にありがとうございました。そして何より事業に対し、動いていただきました上村副委員長をはじめ、LOM創造拡大委員会メンバーに心より感謝いたします。ありがとうございました。

Thank you for the unending friendship that we shared together.



指導力向上委員会

委員長 室田 直人
副委員長 今別府 正義
委員 井上 智志 ・ 岩井 沙弥花 ・ 栗山 和史
黒木 興輔 ・ 田中 賢一 ・ 常盤 尚揮
堀之内 博樹

【事業報告】

今後も地域に必要とされる組織であるために、メンバー同志が切磋琢磨し、本気でぶつかり合い、お互いを高めあっていかなければなりません。今の自分に満足しては、成長は見込めません。青年会議所活動を通して得られる一つひとつの機会の選択を、しっかりと自分の成長に繋げていくことが大切です。そんな思いをもって事業を行ってまいりました。

3月の例会は、浄土真宗本願寺アソカ寺にて中原正暢先輩による、率先垂範のお話しと委員会メンバーの当事者意識向上のためのプレゼンテーションを中心とした内容で実施しました。好きの反対は嫌いではなく、無関心だと言われます。地域に対して、そこに住む人々に対して、今よりももう少し一人ひとりが、問題意識、当事者意識を持って貫きたいと考えました。そして、なんとしてもやり遂げる強い意志や情熱を成熟し、心豊かでのんぼしいリーダーとなることで、恒久的な世界平和という大きな夢に向かって、まずは家族からひいては地域住民が豊かさを感じられる地域づくりに繋がっていくと思い実施しました。

また7月には53周年を迎えた創立記念、ゴルフコンペを執り行いました。諸先輩方と交流する中で、都城青年会議所の奥深さを知ることが出来ました。

そして、8月には共催として盆地まつりにLOM全体で協力し、晴天の下参画しました。43回目を迎えますますます盛大に行われるまつりに、実行委員会や他団体と協力しながら、青年会議所中心で行う事業とは違った楽しさや難しさを感じながら取り組めたと思います。

指導力向上委員会メンバーの皆様、一年間頼りない私を支えてくださり本当に感謝しています。有難うございました。



経営力向上委員会

委員長	佐伯浩文				
副委員長	宮島勇太				
委員	池田翔磨	・	内村卓哉	・	鬼束麻里
	川越祐太郎	・	久保隆之	・	坂下真太郎
	枇杷木由香理	・	福地勇人	・	二見康之
	前田和範	・	丸山将史	・	吉原政秀

【事業報告】

経営力向上委員会では、6月第1例会として「経営力向上例会」、そして12月第1例会として「卒業式」の事業を中心に実施させていただきました。

まずは、6月第1例会「経営力向上例会」として、魅力ある企業とはどのような企業であるのか当委員会で様々な視点で調査研究し、発表を致しました。近年、日本では少子高齢化が進み、労働人口率も減少傾向にある環境のなか、都城圏域から、県外、特に都市部への移住が進んでおり、この圏域では既に働き手が企業を選ぶ時代になっていると感じています。私たちの企業がより魅力的な企業となり、この圏域の企業に勤めたいという人たちを、集めていくことで、自社の企業発展、ひいてはこの圏域の発展に繋がると思います。自社の発展に繋がる例会として、人材の確保・定着・育成に繋がるための中小企業の事例紹介をさせていただきました。人材の確保・定着が出来るような魅力的な企業になるために、これを実施すれば必ず人材の確保が出来るという答えはなく、企業の規模や職種によって様々な取り組み方があると考えます。しかし、例会に参加したメンバーが今後の企業発展を目指すにあたって、より魅力的な企業となるためには、どのようにすべきかを考えるきっかけにもなり、参考にもなったのではないかと思います。

また、12月第1例会「卒業式」として、昭和51年生まれの12名の卒業生に対し、これまで青年会議所活動を精一杯行ってきたことに敬意と感謝を表し、卒業式を執り行いました。懇親会では、12名の卒業生から様々な想いを伝えていただき、現役メンバーも卒業生も心に残る懇親会となったと思います。

さらに、宮崎ブロック大会日南大会へご参加していただく為の情報収集や、情報発信、当日の設え準備を行いました。そして皆様から焼肉カーニバルへの協力も沢山いただき、心より御礼申し上げます。

最後に、宮島副委員長をはじめとする委員会メンバーには本当に支えられ、助けられ、この1年間を過ごしてきたと感じており、大変感謝しています。また、真方理事長や入木田副理事長をはじめとするスタッフの皆様、他の委員長をはじめとするメンバーの皆様、そしてシニア会の皆様にも支えられ、多くの助言、激励をいただき、誠にありがとうございました。



青少年育成委員会

委員長 新川 宏 人
副委員長 小妻 靖 宏
委員 池畑 慎 一 ・ 江夏 徳次郎 ・ 加治屋 博 人
久保 直 之 ・ 桑畑 真 也 ・ 小玉 将 臣
米吉 茂 著 ・ 轟木 秀 恒 ・ 富森 大 輔
松本 弘 樹 ・ 南川 貴 清 ・ 吉 永 一 範
BRIAN WEE

【事業報告】

本年度、青少年育成委員会は、5月に青少年育成例会、9月にきりしまんぢだジュニアトライアスロン大会事業の実施（及び今後の可能性を検討する協議）の事業を中心に活動を行いました。

5月例会では、「困難を乗り越えて強く生きる～自分に自信をもとう～」をテーマに、今を生きる若者の意識を把握し、親子関係を再確認するとともに、幾多の困難を乗り越える逞しく生きる力の意識を醸成することを目的とし事業を構築しました。第一部では、若者の意識調査を国際比較し、日本の若者がいかに自分に自信を持っていない（自己肯定感が低い）傾向にあることを認識し、親子関係の重要性を発信しました。それを踏まえた上で、第二部では、重度の障がいを抱えた濱宮郷詞氏をお招きして、困難を乗り越えて強く生きていられるご自身の実体験を講演していただきました。来場者からは、多くの感謝の意を頂き、生きる力について考えて頂けたと確信しています。自信をもつことは、自己肯定感を高めることに繋がり、物事を前向きに考えることに結びつきます。この先、様々な困難が訪れても、物の見方や考え方を変えることで新たな気づきが生まれ、前向きに強く生きる力が身に付くよう意識することが重要であると考えます。

そして、9月例会の「きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会事業の実施」については、第10回という記念すべき大会の開催に向けて一年前から進めてきた事業でありました。例年以上の参加者数も集まり、また、行政や地元業者、九州圏域のトライアスロン連合など多くのご協力をいただいたにも関わらず、台風接近に伴い、大会の前日に中止を判断しました。苦渋の決断でしたが、参加者や保護者の安全等を考慮するとやむを得ない判断だったと感じております。大会中止という前例がない中で、委員会メンバーを中心に協議を重ね、参加者や大会関係者等へ素早く対応を行ったことで、当日の苦情や問い合わせ等はほとんどなかったことに感謝いたします。今大会の中止を貴重な財産と受け止め、今後活かして欲しいと思えます。また、今大会は、過去の感動が詰まった大会を形に残すべく、歴代パネルを掲げる予定で作成しました。都城市民や先輩方の目に触れていただく機会をつくり、LOMの財産として有効活用していただけると幸いです。

最後に、様々なご助言、ご指導を頂きました真方理事長、杉村副理事長、スタッフ皆様、そして各事業にご支援していただいたメンバーの皆様に対し、心より感謝申し上げます。また、小妻副委員長をはじめとする青少年育成委員会メンバーには、京都会議の降雪や9月例会の台風など荒天に見舞われたことが多々ありましたが、主体的な行動や冷静な判断、そしてたのもしさに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



みらいのまち創造委員会

委員長	永井崇敦				
副委員長	木脇大元				
委員	浅井 齐	・ 岩上 健太郎	・ 小田 宗寛		
	川内 賢幸	・ 瀬戸山 純之	・ 富永 聡		
	水久保 誠	・ 宮脇 佳亨	・ 柳 顕彰		

【事業報告】

本年度みらいのまち創造委員会は、例会として、4月に「市長との意見交換会」、10月に「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」を行い、事業としてDMO設立に向けた勉強会を実施し、島津発祥まつりへ参画いたしました。

4月例会では、講演Ⅰ・講演Ⅱ・意見交換・委員会発表とパートを分けて、講演Ⅰでは、池田宜永都城市長に平成28年3月に策定された都城市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について講演頂き、都城市の未来へのビジョンを理解いただきました。講演Ⅱでは、都城市のタウンマネージャーである二宮啓市氏より、都城市の現状と、新たなまちづくりの手法として、リノベーションによるまちづくりについてご講演頂きました。意見交換では、池田市長、二宮氏、真方理事長のお三方で、講演Ⅰ・Ⅱについての意見交換と、真方理事長より都城青年会議所が今後推進していく、DMO設立、東九州新幹線の誘致についてのご意見を頂戴しました。そして委員会発表において、DMO設立、リノベーションによるまちづくり、東九州新幹線新の3つを新5ヵ年アクションプランに追加させていただきました。4月例会では、今後の人口減少による経済の低迷に対する対策を示すことができましたと考えます。

DMO設立に向けた勉強会では、都城市役所・都城観光協会・都城商工会議所の方々と、関係各団体から聴取したアンケート結果をもとに、観光地として都城圏域の強みと弱みを確認し、都城圏域に観光客を呼び込むためには何が必要であるかについて意見交換を行いました。DMOの設立までには至りませんでした。観光のマーケティング・マネジメントを一体化していく必要性についてはご理解いただけたのではないかと考えます。

10月例会では、都城圏域の魅力圏内外に広くアピールすることにより、人を呼び込み、地域活性化の足掛かりとするために、「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」を、焼肉カーニバルと同日開催致しました。花火大会は昨年よりもスケールアップし、音楽花火を含む1万2900発の花火を打ち上げ、県内最大級の花火大会を無事実施することができ、昨年よりも多くの方々にご来場いただくことができました。

島津発祥まつりでは、今年度は、当委員会よりパレード部会の部会長・副部会長を選任することにより、より高いレベルで参画することができました。パレードでは、都城圏域の歴史をひと目で理解頂けるように、島津荘の誕生から戊辰戦争における私領一番隊までの歴史絵巻をパレードという形で体現いたしました。

当委員会は、4月例会の準備から島津発祥まつりの参画まで、1年間休みなく例会・事業に携わってまいりましたが、木脇副委員長・小田花火大会実行委員長をはじめとする委員会メンバー全員の高い士気に支えられて、最後まで乗り越えることができました。委員会メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

